

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校4年社会 解答及び配点一覧 No.1

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1	(1)		①	知識理解			・ぎざぎざした ・みぞの上の	3
			②	知識理解			・よごれている部分 ・洗いたいもの ・せんたくもの	3
	(2)		③	技能	○なにかま分け、または、どんなときに使うのかを正しく書いている。 ・イとキ（順不同） ・そうじをする（へやをきれいにする）	2	○なにかま分け、どんなときに使うのかを両方正しく書いている。 ・イとキ（順不同） ・そうじをする（へやをきれいにする）	4
			④	技能	○なにかま分け、または、どんなときに使うのかを正しく書いている。 ・ウとク（順不同） ・ごはんをたく（米をたく） ※③④については、順不同	2	○なにかま分け、どんなときに使うのかを両方正しく書いている。 ・ウとク（順不同） ・ごはんをたく（米をたく） ※③④については、順不同	4
	(3)		⑤	思考判断表現	○せんたくいたのよさについて、まとめている。 ・洗いたいところだけ洗える。 ・むだな水を使わない。 ・電気がいらない。	3	○せんたくいたのよさについて、具体的にまとめている。 ・みぞにあわがたまって、特によごれているところを落とすことができる。 ・水をためて、よごれをたしかめながら洗うので、むだな水を使わない。 ・電気を使わなくてもいいので、いつでもせんたくができる。 ・少しの量のせんたくができる。	5
			⑥	思考判断表現	○全自動せんたくきのよさについて、まとめている。 ・楽である。 ・つかれない。 ・時間がかからない。	3	○全自動せんたくきのよさについて、具体的にまとめている。 ・機械が自動でせんたくするので、楽にでき、時間の節約ができる。 ・水を直接さわらないので、寒い日でも楽にせんたくができる。	5
	(4)		⑦	思考判断表現	○人々のくらしの変化について、3つの中から一つの言葉を使ってまとめている。 ・時間がかからなくなった。 ・人の力を使わなくなった。 ・電気をたくさん使うようになった。	4	○人々のくらしの変化について、3つの中から2つ以上の言葉を関連させて使いまとめている。 ・人の力かわりに機械を使うようになって時間がかからなくなり、くらしがべんりになった。 ・人の力を使わなくなった（ので時間がかからなくなった）が、電気を多く使うようになった。	6
	【授業改善の視点】 昔や今の道具について調べたり、実際に使ってみる体験を取り入れたりして、それぞれの道具のよさに気づかせるとともに、くらしの変化について考えさせる言語活動を取り入れる。							
2	(1)	ア	⑧	技能			・17	3
		イ	⑨	技能			・していぶくろ	3
		ウ	⑩	技能			・リサイクル	3
	(2)		⑪	知識理解	○3つ正しく線でつなぐ。	3	○4つ正しく線でつなぐ。 ・牛乳パック → しげんごみ ・紙くずや葉っぱ → もやすごみ ・アルミかん → しげんごみ ・われた茶碗 → もえないごみ	4
					○2つ正しく線でつなぐ。	2		
					○1つ正しく線でつなぐ。	1		

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
2	(3)		⑫	関心意欲態度	○リデュース・リユース・リサイクルと関係付けていないが、ごみを減らす取り組みについて記述している。 ・ ペットボトルやかんなどは、洗ってから決められたとおりに出す。 ・ 新聞紙などはしげんごみの回収に出す。 ・ 鉛筆やノートは最後まで使う。	4	○自分のできる、ごみを減らす取り組みを、リデュース・リユース・リサイクルと関係付けて具体的に記述している。 リデュース(ごみの量を減らす) ・ 買い物にはマイバッグを持っていく。 ・ 必要なものを必要な数だけ買う。  リユース(くり返し使う) ・ つめかえができる品物を選んで買う。 ・ こわれても、修理して使う。  リサイクル ・ 資源ごみをきちんと分別して出す。	6
					【授業改善の視点】 廃棄物の処理や再利用の様子について、自分の生活と関連付けて理解させるとともに、資料やグラフから必要な情報を読み取って課題を見つけたり、自分の考えをまとめたりする言語活動を取り入れる。			
27 点	(1)		⑬	知識理解	○資料 1 から読み取った内容が記述されていない。 ・ 木を切り取って使う。 ・ 動物たちのすみかになる。	2	・ 水をたくわえる。	4
	(2)		⑭	知識理解			・ ウ	3
	(3)		⑮	技能			・ 増えている。	4
			⑯	技能			・ 変わらない。	4
			⑰	思考判断表現	○題意に沿って書いているが、具体的でない。 ・ みんながんばっている。	3	○ひご市の人々の節水の成果として水の使用量が変っていないことを予想して書いている。 ・ ひご市の人 が、水をむだづかいしないように気をつけている。	6
	(4)		⑱	関心意欲態度	○題意に沿って書いているが、具体的でない。 ・ 水を使いすぎないように気をつける。	2	○自分のできる、水の使用量を減らす取組を 2 つ以上書いている。 ・ 残り湯をつかって洗濯する。 ・ 残り湯を使って庭に水まきをする。 ・ 節水コマをつける。 ・ 水道使用量を確かめる。 ・ 蛇口がきちんとしめられているか確かめる。 ・ 水を使うときは、こまめに止める。	6
					○題意に沿って水の使用量を減らす取組を一つ回答している。 ※ 右解答例	4		
【授業改善の視点】 水資源と自分たちの生活とのかかわりについて、全体像をつかませる工夫をしながら、聞き取り調査や施設見学生かして、水資源の有効活用等について意見を出し合うような言語活動を効果的に取り入れる。								

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校4年社会 解答及び配点一覧 No.3

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
4	(1)		⑱	技能			・ とび出し	3
			⑳	技能			・ 3 5 0	3
	(2)		㉑	思考 判断 表現	○「協力」「速く」というどちらか一つの言葉を使って各機関（施設）が連携して素早い対応をしていることを記述している。 ・ いろいろなしせつに伝わり、それぞれが協力している。 ・ できるだけ速くその場所に行く。	3	○「協力」「速く」という両方の言葉を使って各機関（施設）が連携して素早い対応をしていることを記述している。  ・ いろいろなしせつに伝わり、それぞれが協力して、できるだけ速くその場所に行き救助活動を行う。	5
	(3)		㉒	知識 理解			○絵の中からしせつの名前を書いている。 ・ 信号機      ・ 横断歩道      ・ ガードレール ・ 標識          ・ 歩道	3
			㉓	知識 理解			○絵の中から選んだしせつの役割を書いている。 ・ 歩行者と車がぶつからないようにし、交通の流れをスムーズにするため ・ 歩行者が安全に横断できるようにするため ・ 歩行者や建物を車から守るため ・ 交通事故を防ぐためのきまりを示すもの ・ 歩行者が安全に通行できるようにするため ※役割の説明ができていれば可	4
	(4)		㉔	関心 意欲 態度	○地域の安全を守るための取り組みについてのみ書いている。 ・ 「地域の安全マップを作る取り組み」 ・ 「防犯（防火）ポスター作成や呼びかけをする取り組み」 ・ 「パトロール隊をつくる取り組み」 ・ 「安全施設設置の取り組み」	4	○地域の安全を守るための取り組みと目的について書いている。 ・ 「地域の安全マップを作る取り組み」 目的：住民に危険な場所を知らせるため。 ・ 「防犯（防火）ポスター作成や呼びかけをする取り組み」 目的：警察の方や消防署の方の願いをみんなに知ってもらうため ・ 「パトロール隊をつくる取り組み」 目的：地域で協力して犯罪などが起こらないようにするため。 ・ 「安全施設設置の取り組み」 目的：交通事故などを減らすため。	6

【授業改善の視点】

より身近な資料をもとに学習課題を設定するとともに、聞き取り調査や見学等の学習活動を生かして自分たちの生活に関わる言語活動を設定し、学校や地域の安全に積極的に関わる主体的な態度が養われるようにする。